

町民の消費生活を根底から支える

胆振管内・白老町 NPO 法人 NPO 白老消費者協会

「このお漬物、おいしいわね」、「塩加減が丁度いいからよ」。「あらこの草履、可愛いわ」、「〇〇さんの手作りよ。あの方、手が器用だから」——部屋いっぱい明るい会話が弾み、笑顔がこぼれる。ここは胆振・白老町駅前商店街一角にあるNPO法人NPO白老消費者協会の事務所。まちのど真ん中とあって買い物帰りの主婦やお年寄りがふらりと立ち寄り、家族の近況や身近なマチの情報を語り合う。事務所というより“町民サロン”といった感じ。

消費者協会とは、誰もが安全安心な生活ができるよう暮らし全般にわたり消費者教育、啓発、情報の提供相談などに当たっている民間団体。2018年現在、道内には北海道消費者協会を中心に、概ね自治体単位で72の地方協会があり、食品の安全、省エネ、マイバッグ運動をはじめ悪徳商法、高齢者の詐欺事件の防止など幅広い活動を展開している。などと書けば何となくお堅いイメージだが、ここにはそんな雰囲気はみじんもなく、組織がそれだけ町民に親しまれ、身近にあるという証だろう。そんな気さくさを持ちながら、この協会が町民の安心、安全な暮らしに果たしている役割は大きく、多くの町民がここが発する消費情報を心待ちにしている。

■ 協働のまちづくりの一翼を担う

白老町はかねて、住民と行政が力を合わせてまちづくりを進める“協働”が、全国的に

も理想的に展開している自治体として有名。公園はきれい、遊具は安全、道路は清潔、歩道に立つ彫刻やオブジェはいつもピカピカ……。これらの仕事は、大抵の地域では自治体が行っているが、白老の場合、連合町内会と町内会にある全ての町民活動団体が力を出し合い、町と一体となって実現している。消費者協会の活動もこの流れの中で生まれ、成長してきた。

協会の設立は1996年（平成8年）と古い。2007年（同19年）、JR白老駅の売店閉鎖に伴い、町からその運営を任されたのを機にNPO法人の認証を取った。活動の幅が広がり、町などからの事業委託も受けやすくなるのではないかと、との思いから。現在、NPO法人格を得ているのは函館と白老の2つだけ。独立独歩、自分たちだけでやっていこうという自立の気構えの現われといえる。これを契機に翌年、事務所を駅前商店街の空き店舗へ移し、地場産品のアンテナショップなども開設して人が集まりやすい環境を整えた。それがすばりの中して、事務所はいつも人が集い、憩う“サロン”風に変身した。時代の移り変わりと共にその後、駅売店は無くなり、アンテナショップも会員の手作り小物作品を並べる程度に縮小したが、人が集まる“サロン”のたたずまいは今も健在だ。

■ 協会の学ぶ姿勢・町民に浸透

協会が現在行っている活動は大きく分け

て消費者の啓発、古着などのリユース・リサイクル、それに母子・男性対象の料理教室の3つ。

消費者の啓発は、「賢い消費者になるためには教育、学習が一番大切」との考え方から積極的に取り組んでいる。商品や食品に対する知識、環境や省エネルギー・リサイクル関係、防犯・交通安全、福祉など暮らし全般にわたり、年間30回以上も研修会、講演会を開いて研鑽を積んでいる。

中でも力を入れているのが、近年急増している悪徳商法やオレオレ詐欺の被害防止の集い。地元警察や町、町消費生活センターなどとタイアップして年4回、その手法や新手の手口、見分け方、引っかけられない方法などを勉強し、被害防止に努めている。毎回100人以上の町民が参加し、その内容は広報紙にまとめられて全町に配付される。その甲斐あってここ数年、町内で「オレオレ」、「振り込め」、「税返還」などの詐欺被害は皆無で、協会としての面目は躍如。この種犯罪防止のネットワークの事務局を担当し、町民からの問い合わせ窓口としても重宝されている。

このほか食品やエネルギー、省エネなど生活に直結するあらゆるジャンルについて研修会やシンポジウム、講演会を開き、町民の安全、安心についての意識を高めている。どの催しにも多くの町民が集まり、熱心に学び知識を吸収することに貪欲だ。2017年10月11日に町総合保健福祉センターで開かれた

エネルギー研修会にも、同じ日に別の会場で町民に人気のある高齢者文化祭が催されて人が流れたにもかかわらず60人近い町民が集まり、プロパンガスについて生産から輸送、特徴、安全な取り扱い方などじっくり学んだ。参加者のどの顔も、講師の言葉を一言一句聞き漏らすまいと真剣で、賢い消費者になるためには勉強が大切、と標榜する協会の姿勢が町民に深く浸透していることがうかがわれた。



エネルギー研修会で講師の話に熱心に耳を傾ける町民消費者

■ 古着再生や子供への文化伝承も

古着のリユースやリフォームも熱心だ。月に1~2回事務所で開かれるリフォーム教室には毎回20人ほど集まり、会員が務める先生のもとで古い和服や洋服を手直ししたり、裁断して財布や買い物袋などによみがえらせる。“暮らしのベテラン”が多い団体だけに集まった女性たちの手さばきは見事で、中古のドレスがモダンなツーピースに、絹の和服がハンドバッグにとみるみる変身。「これ、私いただくわ」と、その場で引き取られたり、事務所の一角にあるショーケースに陳列され、

その後訪れた町民に購入されたりして協会の収入の一部になっている。



こんな素敵なものもできるのよとリフォームされた数々の作品を手取る但馬理事長

再生物づくりはこれだけではない。古着活用と子どもたちへの文化伝承の一石二鳥を狙い、子供を対象とした布草履とお手玉づくり講座も開いており、なかなかの人気。先生は農家出身のおじいさんと、昔、お手玉遊びに熱中したおばあさん。持ち寄られた不要和・洋服を紐状に切り裂いたり、小布にカットしたあと、先生は子供たちの手を取り、足を取りして作り方を伝えていく。「ここはヒモの間をくぐらせてきっちり詰めて」、「お手玉には小豆をこのぐらい入れて閉じるのよ」など、会話を交えながら懸命に手足を動かす。程なくカラフルな一足、一玉ができると「うあーできた」と大喜び。日ごろゲーム漬けの子供たちにとって、自分の手足を使っての物づくりは初体験で、みんな頬を染めて感動の面持ち。協会の面々にとっても満足のひとつだ。できた草履やお手玉は各自持ち帰り、大人が作った物は室内に展示され、後日ほしい人に

引き取られていく。

■ 家庭円満 親子、男性対象の料理教室

忙しい現代社会。朝食抜きやコンビニ弁当がしばしばという母子や男性のための料理教室も月2~3回開かれ、町民の健康づくりにも一役買っている。会員の中にはプロはだしの料理人もおり、この人たちが講師となり、とくに地元産の野菜や山菜、肉、魚介を食材に栄養満点の料理を実習、コツを会得する。娘や息子にも知ってもらおうと子連れで参加するお母さんたちも多く、調理を進める中で親子のコミュニケーションもばっちり。男性の場合は連れを亡くしたり、定年後、奥さん孝行をしたいと受講するケースが大半で「日常の食生活に新たなメニューが加わった」、「栄養のバランスがとれる」と毎回好評だ。また事務所では広い意味での地産地消として道産の米油を格安販売しており、この面でも町民の正しい栄養摂取に貢献している。

■ 多面的なまちづくりへの参加

こうした直接活動と並行して協会は、町の“協働”のまちづくりに全面協力し、連合町内会や他の町民団体が進める行事や催しにできる限り参加して盛り上げている。また、社会福祉協議会、国保、森林保護などの各協議会にも人員を派遣し、消費者の立場から適切な指摘や発言を続けている。こうした幅広い活動について、町の生活環境課長は「行政でまかないきれない消費生活活動を補完してもらっていて、本当に感謝している。これから

もタイアップし、力を借りていいまちづくりをしていきたい」と高く評価。たまたま事務所を訪れていた主婦（72才）も「犯罪防止をはじめ、私たちの安全、安心の暮らしをしっかり守ってくれていてとてもありがたい」と強い信頼を寄せていた。



親と子の料理教室

この協会を支えるスタッフは但馬まや理事長(68才)以下10数人。会員は約200人。行事やイベントで足りないときは会員有志がその都度応援してくれる。財政は町の助成金や会員の会費、物販収入など年140万円ほどで、NPO法人化で狙った事業受託が思惑どおりには進まず、人件費の捻出は覚つかない厳しい内容。それでも理事、会員らは「まちがよくなれば」の共通理念で、ほとんどボランティアの形で活動を続けている。悩みは理事、会員とも高齢化で新しい担い手がなかなか出てこないこと。これは他の町民団体も同様の事情なので、今後はお互い人や物で協力しあって乗り切ろうと考えている。

ところで白老町には、2020年にアイヌ文化復興の拠点「民族共生象徴空間」が開設される。このため町は目下「多文化共生のまちづくり」を掲げてまちづくりを進めている。これについては消費者協会は直接関わっていないが、年間200万人以上が訪れるとみられるだけに商店や観光関連団体と一体となって「ようこそ白老へ」精神でお迎えしよう、と話し合っている。

協会のこれからの行き方として但馬理事長は「次代を担う子供たちのために、勉強のサポートと子供食堂を併設した教育の場づくりをやっていききたい。町内には幸い、教員の退職者が多いのでその人たちを中心に働きかけ、官ではできない“人づくり”を目指そうと思う。それが先人として生まれた私たちの努めだと思います」と決意を語っている。

■ 連絡先

〒059-0905 白老町大町2丁目3-17

NPO法人NPO白老消費者協会
理事長 但馬 まや(たじま まや)

TEL/FAX : 0144-82-4722

Email : shiraoi-shouhi@citrus.ocn.ne.jp

URL :

<http://shiraouisyouhisakyokai.web.fc2.com>